

紫外線を徹底的に寄せ付けない！デリケートな肌を守るマイルドな日焼け止めジェル

肌和華 UV ジェル

2019年4月23日(火)から新発売

美容・健康・医療を掲げる株式会社ハイサイド・コーポレーション(本社：東京目黒区、代表取締役：高瀬 武英)は、ちょうどいい、きちんとケアが叶うスキンケアシリーズ「肌和華」から、新商品の顔・からだ用の日焼け止めジェル「肌和華 UV ジェル」(120g、税抜3,200円)を2019年4月23日(火)から販売いたします。



SPF50+/PA++++
ウォータープルーフ

「肌和華 UV ジェル」
120g、税抜3,200円

「肌和華」シリーズは、“忙しくてもきちんとお手入れしたい”という女性たちの声から生まれたスキンケアシリーズです。

日差しが強くなるシーズンに向け発売する今回の新商品「肌和華 UV ジェル」は、アルコール(エタノール)をはじめ、合成着色料、合成香料、パラベン、鉱物油(ミネラルオイル)の5つの成分を使用していない低刺激設計、20種類の美容成分を配合したトリートメント処方で、スキンケアをしながら国内最高レベル(SPF50+/PA++++)のUV対策ができます。汗・水に強いウォータープルーフ処方のため、日常使いだけでなくアウトドアでも安心です。

また、たっぷりの水分を含んだ「ウォーターリー製法」により、みずみずしく快適なつけ心地を実現。ベタつき・きしみ・白浮きなどの日焼け止めの不快感を一掃し、快適な使い心地を実現しました。



HADAWAKA



【商品概要】

- 品名 : 肌和華 UV ジェル
 容量・価格 : 120g 3,200円(税抜)
 発売場所 : 公式サイト、楽天市場/Yahooショッピング/Amazon アンプルール公式サイト
 商品URL : <https://www.hadawaka.jp/skincare/1604>

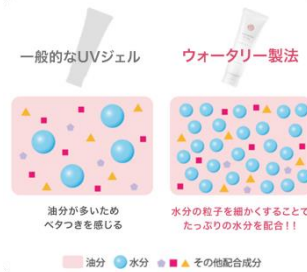
【製品特長】

国内最高レベルの紫外線カット効果とみずみずしいのにベタつかない使い心地

■ 国内最高基準の紫外線防御力(SPF50+/PA++++)でUV対策

■ みずみずしさの理由は、ウォーターリー製法

水分の粒子を細かくすることで通常のジェルよりも多く水分を配合でき、皮膜感やベタつきの気にならないつけ心地を実現しました。



■ 水に強いウォータープルーフ処方

汗をかいても流れ落ちにくくUVカット効果が持続するのでレジャーや水遊びにもおすすめです。

5つの成分をフリーにした低刺激な設計

アルコール(エタノール)、合成着色料、合成香料、パラベン、鉱物油(ミネラルオイル)は使用していないため、専用クレンジング不要、石けんで落とせるマイルド処方です。毎日使うため、肌へのやさしさを実現しました。

ダメージを防ぎながら潤いを与え、なめらかな肌へ導く“トリートメント”処方

20種類の美容成分を配合したトリートメント処方で、乾燥などのダメージを防ぎながら潤いを与え、肌をすこやかに保ち、しっとりなめらかな肌へ導きます。

- 【保湿成分】 浸透型ヒアルロン酸、浸透型コラーゲン、トリプルセラミド、リピジュア®
- 【大気汚染物質バリア】 ワサビノキ種子エキス、ヒアロベール、ヒアロオリゴ
- 【抗炎症成分】 ツボクサエキス、グリチルリチン酸2K
- 【ハリ・透明感】 サクラエキス、ビタミンC誘導体(VCIP・アスコルビルグルコシド・ビスグリセリルアスコルビン酸)、レッドフルーツエキス(アセロラ・パッションフルーツ・キイチゴ・トマト・カムカム・ザクロ・ローズヒップ)



HADAWAKA



■ 肌和華について

家事や仕事、趣味、育児。「なにかと余裕のない毎日を賢く楽しみながら、キレイな私でいたい」をコンセプトに忙しい女性に寄り添うスキンケアとして生まれた肌和華。

10年以上にわたり日本女性の肌を見つめてきた開発チームの美容皮膚科学の知識を詰めこみ、「簡単」「多機能」「高品質」なシンプルケアを目指しました。

肌和華サイトURL : <https://www.hadawaka.jp/>

■ 株式会社ハイサイド・コーポレーションについて

商号 : 株式会社ハイサイド・コーポレーション

本社 : 東京都目黒区中目黒1-8-1 VORT中目黒I 4F

代表 : 代表取締役社長 高瀬 武英

創業 : 2003年3月14日

事業内容 : 化粧品、医薬部外品の企画・開発・販売、美容サロンの経営コンサルティング、オウンドメディアの運営
アンプルール、肌和華、White Aquaは、株式会社ハイサイド・コーポレーションが展開するスキンケアブランドです。

HP : <https://www.hsco.co.jp/>

※この資料は、商品理解を深めてもらうための内容であり、医薬品医療機器等法(旧薬事法)に抵触する表現が含まれています。